

キリスト教禁止 (★) と鎖国への道程

※鎖国の理由…キリスト教の禁圧 ・イスパニア・ポルトガルの植民地政策 ・既存宗教との対立  
 ・信者の団結 ・封建道徳との矛盾(〈例〉自殺禁止、神の下の平等)  
 貿易の統制…離籍の独占と自給自足経済・封建社会の維持

「英」を例に各々の国との関係があった期間を示しなさい↓

将軍	大御所	年代 および 主な出来事	英	西	葡	蘭
秀忠	家康	1609. オランダ通商開始	●	●	●	●
		1610. イスパニアと国交回復				
	★1612. 天領と直属家臣に <sub>1</sub> _____ →翌年、 <sub>2</sub> 全国へ( <sub>3</sub> 金地院崇伝 <small>こんちいんすうでん</small> が起草)…より徹底的な弾圧へ					
	1613. イギリスと通商開始					
秀忠		★1614. <sub>4</sub> 高山右近ら(改宗を拒否)約300人をマニラ・マカオへ追放				
		1616. 明以外の外国船の来航を、 <sub>5</sub> 平戸・ <sub>6</sub> 長崎に限定 ★1622. <sub>7</sub> _____… <sub>8</sub> 長崎で宣教師・信者ら55名処刑				
家光	秀忠	1623. <sub>9</sub> イギリス、平戸の商館を閉鎖				
		1624. <sub>10</sub> イスパニア船の来航を禁止				
		★1629. <sub>11</sub> 絵踏(踏絵)の開始…長崎から				
		1631. <sub>12</sub> _____制度の開始…海外渡航には <sub>13</sub> 老中奉書も必要(+朱印状)				
		<sub>14</sub> 鎖国令…[I]~[V] ※[I]~[III]は主に <sub>15</sub> 日本人を規制 [IV]・[V]は主に <sub>16</sub> ポルトガルへの規制				
		[I] <sub>17</sub> 寛永十年禁令[ <sub>18</sub> 1633]… <sub>19</sub> 奉書船以外の渡航を禁止				
		[II] <sub>20</sub> 寛永十一年禁令[1634]…海外との往来・通商の制限				
		[III] <sub>21</sub> 寛永十二年禁令[ <sub>22</sub> _____]… <sub>23</sub> 日本人の海外渡航・帰国の全面禁止				
		[IV] <sub>24</sub> 寛永十三年禁令[1636]…混血者の追放 <sub>25</sub> ポルトガル人を長崎の <sub>26</sub> _____へ				
		★ <sub>27</sub> 1637~38. <sub>28</sub> 島原の乱( <sub>29</sub> 島原・天草一揆) 天草領主(寺沢氏)・島原城主(松倉氏)の重税とキリシタン弾圧 旧領主はキリシタン大名(有馬・小西) 旧家臣(牢人)が一揆を指導 → <sub>30</sub> _____ ( _____ )中心に決起、 <sub>31</sub> 原城跡 <small>ろうじょう</small> に籠城 →板倉重昌(幕府軍総司令官)戦死→老中 <sub>32</sub> 松平信綱らにより壊滅				
	[V] <sub>33</sub> 寛永十六年禁令[ <sub>34</sub> 1639]… <sub>35</sub> ポルトガル船の来航禁止 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">最後の鎖国令</span>					
	<sub>36</sub> 1641. <sub>37</sub> オランダを長崎の出島へ <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">鎖国の完成</span>					

## 鎖国後の日本

※「鎖国」は、来日したケッペルの『日本誌』を志筑忠雄が翻訳した(1801年)際に作った訳語

A. 外国との通交関係 …貿易は<sup>くち</sup>38四口(長崎口・対馬口・薩摩口・松前口)に限定

**対馬口** 宗氏と朝鮮の貿易 **薩摩口** 島津の琉球貿易 **松前口** 松前のアイヌ交易

**長崎口** オランダ：出島…<sup>39</sup>オランダ商館(東インド会社の支店) 一般の日本人は立入禁止

<sup>40</sup>オランダ商館長(カピタン)が1年交代で赴任、毎年江戸へ参府

→『<sup>41</sup>\_\_\_\_\_』(海外情報)を入港毎(毎年)に提出

中国：<sup>42</sup>唐人屋敷 設置(1688) 『唐船風説書』

※明滅亡(1644)→中国東北部の満州族(女真人)が中国へ侵攻 (<sup>43</sup>\_\_\_\_\_)

明復興を目指して各地で抵抗 台湾で<sup>43</sup>鄭成功(明の遺臣, 母は日本人)が独自政権

※明僧<sup>45</sup>\_\_\_\_\_ (隠元隆琦) 渡来[1654] …<sup>46</sup>\_\_\_\_\_ (禅宗の一派)を伝える

<sup>47</sup>万福寺(本山：宇治)・<sup>48</sup>崇福寺(長崎)等

B. キリスト教の禁圧

<sup>44</sup>\_\_\_\_\_ 制度…庶民はいずれかの寺院の<sup>45</sup>檀那(<sup>46</sup>檀家・檀徒)となる

証明=<sup>47</sup>\_\_\_\_\_ (信仰調査) →<sup>48</sup>宗門改帳(宗旨人別帳)

※近畿・九州などで <sup>49</sup>隠れキリシタン(潜伏キリシタン)…マリア観音などを信仰

C. 鎖国の影響 ①世界からの孤立…洋書の輸入禁止、『オランダ風説書』は非公開

<sup>50</sup>オランダ通詞(通訳)にも多くの制約

②海外発展の障害(大名・商人) ③幕藩体制の安定

【正誤問題に挑戦】〈センター1997本試験、1995追試験より〉

X. 家光政権は、ポルトガル船の来航を禁止し、長崎の出島で中国船・オランダ船との貿易を許可した。

Y. 江戸幕府は、全国の寺院を本山・末寺に組織する寺請制度を完成させた。

**キリスト教禁止 (★) と鎖国への道程**

※鎖国の理由…キリスト教の禁圧 ・イスパニア・ポルトガルの植民地政策 ・既存宗教との対立  
 ・信者の団結 ・封建道徳との矛盾(〈例〉自殺禁止、神の下の平等)  
 貿易の統制…離籍の独占と自給自足経済・封建社会の維持

「英」を例に各々の国との関係があった期間を示しなさい↓

将軍	大御所	年代 および 主な出来事	英	西	葡	蘭
秀忠	家康	1609. オランダ通商開始				
		1610. イスパニアと国交回復				
	★1612. 天領と直属家臣に <u>1禁教令</u> →翌年、 <u>2全国へ</u> ( <u>3金地院崇伝<small>こんちいんすうでん</small>が起草</u> )…より徹底的な弾圧へ					
	1613. イギリスと通商開始					
忠		★1614. <u>4高山右近ら</u> (改宗を拒否)約300人をマニラ・マカオへ追放				
		1616. 明以外の外国船の来航を、 <u>5平戸</u> ・ <u>6長崎</u> に限定				
家光	秀忠	★1622. <u>7元和の大殉教</u> … <u>8長崎</u> で宣教師・信者ら55名処刑				
		1623. <u>9イギリス、平戸の商館を閉鎖</u>				
	1624. <u>10イスパニア船の来航を禁止</u>					
	★1629. <u>11絵踏(踏絵)</u> の開始…長崎から					
	1631. <u>12奉書船</u> 制度の開始…海外渡航には <u>13老中奉書</u> も必要(+朱印状)					
	<u>14鎖国令</u> …[I]~[V] ※[I]~[III]は主に <u>15日本人</u> を規制 [IV]・[V]は主に <u>16ポルトガル</u> への規制					
	[I] <u>17寛永十年禁令</u> [ <u>181633</u> ]… <u>19奉書船以外の渡航を禁止</u>					
	[II] <u>20寛永十一年禁令</u> [1634]…海外との往来・通商の制限					
	[III] <u>21寛永十二年禁令</u> [ <u>221635</u> ]… <u>23日本人の海外渡航・帰国の全面禁止</u>					
	[IV] <u>24寛永十三年禁令</u> [1636]…混血者の追放 <u>25ポルトガル人</u> を長崎の <u>26出島</u> へ					
光		★ <u>271637~38. 28島原の乱</u> ( <u>29島原・天草一揆</u> ) 天草領主(寺沢氏)・島原城主(松倉氏)の重税とキリシタン弾圧 旧領主はキリシタン大名(有馬・小西) 旧家臣(牢人)が一揆を指導 → <u>30益田時貞</u> ( <u>天草四郎</u> )中心に決起、 <u>31原城跡</u> <sup>ろうじょう</sup> に籠城 →板倉重昌(幕府軍総司令官)戦死→老中 <u>32松平信綱</u> らにより壊滅				
		[V] <u>33寛永十六年禁令</u> [ <u>341639</u> ]… <u>35ポルトガル船の来航禁止</u> <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">最後の鎖国令</span>				
	<u>361641. 37オランダ</u> を長崎の <u>出島</u> へ <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">鎖国の完成</span>					

## 鎖国後の日本

※「鎖国」は、来日したケッペルの『日本誌』を志筑忠雄が翻訳した(1801年)際に作った訳語

A. 外国との通交関係 …貿易は<sup>38</sup>四口(長崎口・対馬口・薩摩口・松前口)に限定

**対馬口** 宗氏と朝鮮の貿易 **薩摩口** 島津の琉球貿易 **松前口** 松前のアイヌ交易

**長崎口** オランダ：出島…<sup>39</sup>オランダ商館(東インド会社の支店) 一般の日本人は立入禁止

<sup>40</sup>オランダ商館長(カピタン)が1年交代で赴任、毎年江戸へ参府

→『<sup>41</sup>オランダ風説書』(海外情報)を入港毎(毎年)に提出

中国：<sup>42</sup>唐人屋敷設置(1688) 『唐船風説書』

※明滅亡(1644)→中国東北部の満州族(女真人)が中国へ侵攻(<sup>43</sup>清)

明復興を目指して各地で抵抗 台湾で<sup>43</sup>鄭成功(明の遺臣, 母は日本人)が独自政権

※明僧<sup>45</sup>隠元(隠元隆琦)渡来[1654] …<sup>46</sup>黄檗宗(禅宗の一派)を伝える

<sup>47</sup>万福寺(本山：宇治)・<sup>48</sup>崇福寺(長崎)等

B. キリスト教の禁止

<sup>44</sup>寺請制度…庶民はいずれかの寺院の<sup>45</sup>檀那(<sup>46</sup>檀家・檀徒)となる →江戸2

証明=<sup>47</sup>宗門改(信仰調査) →<sup>48</sup>宗門改帳(宗旨人別帳)

※近畿・九州などで <sup>49</sup>隠れキリシタン(潜伏キリシタン)…マリア観音などを信仰

C. 鎖国の影響 ①世界からの孤立…洋書の輸入禁止、『オランダ風説書』は非公開

<sup>50</sup>オランダ通詞(通訳)にも多くの制約

②海外発展の阻害(大名・商人) ③幕藩体制の安定

【正誤問題に挑戦】〈センター1997本試験、1995追試験より〉

X. 家光政権は、ポルトガル船の来航を禁止し、長崎の出島で中国船・オランダ船との貿易を許可した。

Y. 江戸幕府は、全国の寺院を本山・末寺に組織する寺請制度を完成させた。